



## 制服に身を包み、真剣な面持ちで行う放水体験 〔おおのじょう少年消防クラブの活動〕

### 主 な 記 事

- ・消防団との対談 ..... P 2～ 3
- ・平成26年第3回9月定例会 ..... P 4～ 9
- ・一般質問 ..... P10～15

# 特集

## 消防団 × 市議会

地域防災のかなめとして  
日々活動されている市消防団の  
皆さんにお話を伺いました。



### 自分たちのまちは自分たちで守る

#### 〈火災等で出動する時の流れは〉

一斉に団員にメール配信されて2、3人集まったら出動します。

基本的には消防署が先にきていることが多いので、消防署の指示を受けて消火活動にあたります。

#### 〈消防団全体の人数は〉

定員は200人です。分団によって人数の違いがあります。時代の流れか、なかなか消防団に入ろうという人が少なくなってきています。

#### 〈消防団と消防署の違いは〉

消防団は仕事を持ちながら消防活動にあたっていますが、消防署は専門にしています。

#### 〈消防団に入った動機は〉

地元の方や職場の先輩等の熱心なお誘いで入りました。

#### 〈操法大会の練習スケジュールは〉

分団によって練習開始時期は違います。正式な訓練開始は7月1日の訓練開始式からになります。大会まで月・水・金曜日に2時間、大会1週間前になると毎日練習しています。

第4分団は自主的訓練として2月の中旬くらいから選手は基礎体力をつけるために走ったり、4月になったらグラウンドを借りて基礎体力をつける筋力トレーニングや走り込みをします。5月からは練習会場で訓練をしています。

### 〈大変だと思ったことは〉

職場の理解がないと出勤しにくいです。仕事との両立が大変ですね。

特に、操法大会の練習等で、忙しい時期の週3日の訓練は夏の暑い時期ということもあり疲労が蓄積しますが、勝つために頑張って練習しています。夜、留守になることが多いので家族に苦労をかけています。大会が終わったら家族サービスをしたいです。

### 〈第23回福岡県消防操法大会の結果〉

第1分団…自動車ポンプの部 5位  
第4分団…小型ポンプの部 3位

### 〈嬉しかったことは〉

操法大会で勝った時はうれしいです。地域や消防団員の方とのつながりができるところです。

土のうなどを積んでいる時に感謝されることです。

### 〈消防団の研修はあるのか〉

消防署で新入団員研修があり、基本動作などを学びます。その他は新人研修、幹部研修が年1回あります。



### 〈火事や水害対応の出動以外での仕事は何かあるか〉

おおの山城大文字まつりや地域の祭りの警備も行っています。第1、3金曜日の夜に消防団が地区内を回って、夜間パトロールをしています。

### 〈女性消防団員の人数は？〉

現在4人います。

### 【女性消防団員の活動】

女性消防団員は、火災時、災害時の現場活動はありませんが、火災予防や防災に関する広報・啓発を中心に活動しています。

### 〈市議会のイメージは〉

テレビで放映されないので、イメージが湧かないです。テレビであっている国会のイメージが強いです。

### 〈市議会に何か要望は〉

団員の人数が少ないので、議会だよりを読むことで興味を持ってもらえたらと思います。興味がある方があれば消防団にきてほしいです。

【消防団に関する問い合わせ先】  
安全安心課消防・防災担当

TEL 580-1899

他にも色々なお話を伺うことができました。ご協力いただきありがとうございます。

# 9月定例会開催

平成26年9月定例会を9月1日(月)から9月24日(水)まで開催。

28の案件を審議し、全て可決・認定・同意・承認。

報告が7件。請願2件を採択、4件不採択。

11名の議員が一般質問。

各常任委員会に  
付託された主な案件

## 総務市民委員会

第51号議案

「大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」

## 福祉文教委員会

第48号議案

「大野城市若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について」

第50号議案

「大野城市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

第60号議案

「大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」

## 都市環境委員会

第52号議案

「大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」

## 予算委員会

第53号議案

「平成26年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について」

## 総務部所管

25年度に前倒し実施した福岡都市圏南部環境事業について

## 子ども部所管

保育施設への太陽光発電設備の設置について

## 環境生活部所管

環境美化ごみ袋作成について

## ◆議会の動き◆

7月25日 議会活動活性化調査特別委員会

8月11日 議会活動活性化調査特別委員会

25日 議会運営委員会

会派代表者会議

議会活動活性化調査特別委員会

9月1日 本会議(初日)

全員協議会

広報委員会

2日 本会議(2日目、質疑)

総務市民委員会

福祉文教委員会

都市環境委員会

8日 予算委員会

9日 決算特別委員会

11日 決算特別委員会

12日 決算特別委員会

16日 決算特別委員会

17日 議会運営委員会

本会議(3日目、一般質問)

議会活動活性化調査特別委員会

18日 本会議(4日目、一般質問)

24日 議会運営委員会

本会議(最終日)

全員協議会

会派代表者会議

議会活動活性化調査特別委員会

10月2日 議会活動活性化調査特別委員会

3日 福岡県南市議会議長会

7日 広報委員会

17日 広報委員会

(大野城市)

# 委員会報告

～主な審査内容～

## 総務市民委員会

### 第51号議案

「大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」

「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に法律」の題名の改正に伴う条例改正

Q 市内に中国在留邦人及び特定配偶者の人はいるのか

A 市営住宅申込者の中に該当者はいない。

## 福祉文教委員会

### 第59号議案

「大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の制定について」

Q 家庭的保育者となるには

A 市で設けた一定の研修基準を修了する。研修内容は、子どもの保育に関する講義など。

Q 届出保育施設が小規模保育事業に移行するメリット・デメリットは

A メリットは安定した経営を行いやすい、デメリットは定員数や個人の保育理念が法律で制限される場合がある、などが考えられる。

## 都市環境委員会

### 第52号議案

「大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」の題名の改正に伴う条例改正

Q 今回、法律名に「管理」という言葉が追加されたがどういうことを意味するのか

A 有害鳥獣が増加している分の生息数を適正な水準に減らしたり、生息地を適正な範囲に縮小するという意味である。

Q 市における有害鳥獣の管理は

A 市が有害鳥獣の駆除計画を立て、県に提出して、計画に応じて駆除を行うことで管理する。



八幡市議会視察の様子

28日	24日	22日	21日	15日	10月7日	9月30日	11日	7日	8月4日	7月28日
広島県三次市	埼玉県飯能市	神奈川県横須賀市	東京都調布市	千葉県館山市	長崎県平戸市	熊本県合志市	岡山県高梁市	京都府八幡市	三重県伊勢市	東京都世田谷区

◆視察来庁◆

## 予算委員会

### 第53号議案

「平成26年度大野城市一般会計補正予算（第2号）」について

（補正前の額）（9月補正額）（補正後の予算額）  
317億3657万円 + 6706万円 = 318億363万円

Q 平成28年1月から導入される「社会保障・税番号制度」の目的は

A 社会保障、税、災害の3分野について活用していくため、国民一人一人にオリジナルの番号を決め、写真付きのカードを発行。これにより、いろいろな手続きが簡略化され、便利な制度として運用していくことが目的である。

Q 大野南保育所の大規模改修工事は、建設経過何年なのか、また総事業費の見込みは

A 工事は平成27年度に実施されるが、建設後23年が経過する。建築費、工事費については、7000万円程度の予定。



大野南保育所

Q （仮称）ふるさと大野城「まちの活力」創出基本計画及びアクションプランの策定は

A 市民ワークショップ等でまちの活力、にぎわいづくりという観点からいろいろな意見等を集約し、事務局で素案を作り、有識者等12名（うち女性5名）で構成する検討委員会で検討し、平成27年度中に計画を策定する考えである。

Q 学級運営サポートティーチャーと介助員の配置状況は

A 学級運営サポートティーチャーは、現在、大野小学校など6校に各1名配置。今回、大利小学校、下大利小学校、平野小学校に各1名配置を予定している。

介助員については、現在小学校に14名、中学校に5名配置。今回大野東小学校と平野小学校に各1名追加配置を予定している。

Q 大野城市軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業とは

A 身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して、言語の獲得やコミュニケーション能力の促進を図ることを目的に、補聴器の購入費用の一部を助成するものである。

Q 大野城市軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業の対象者の把握は

A 小中学校については調査を行い対象者を把握できるが、学齢児前や高校生については対象者を把握できていないので、申請をしてもらうことになる。

Q 成人用肺炎球菌予防接種の内容とその対象者は

A 肺炎球菌というウイルスが何種類かあるが、ワクチンを接種することによって肺炎の発症を抑える。今年の10月から平成30年度まで、65歳、70歳、75歳など、65歳以上で5歳刻みの人を対象に定期接種される。

## 決算特別委員会

### 平成25年度一般会計決算認定

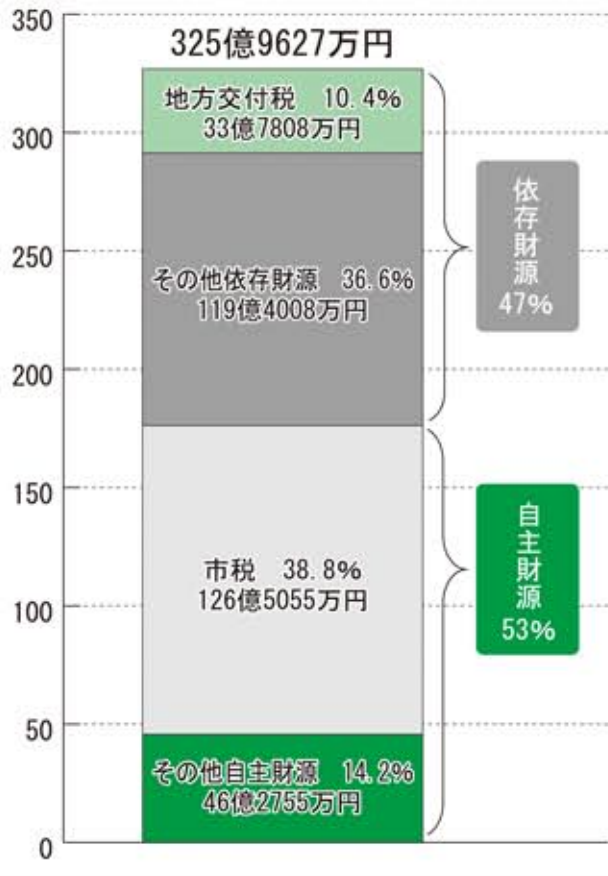
#### 【総括】

歳出総額は、320億793万3千円で前年度に比べて2.0%の減となっている。用地取得が計画どおり実施され、投資的経費の普通建設事業が大幅な増となり、少子高齢化に伴い社会保障関係費などが増となり、公債費は大幅な減となった。

歳入総額は、325億9千627万5千円で前年度に比べて2.2%の減となっている。

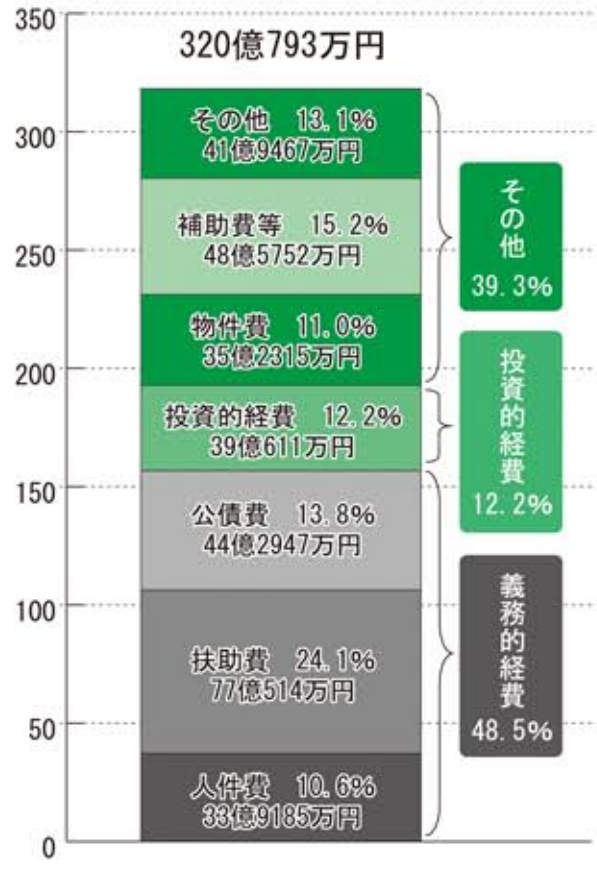
## 平成25年度 一般会計歳入決算額

(単位：億円)



## 平成25年度 一般会計歳出決算額

(単位：億円)



※平成25年度決算の詳細は、広報大野城11月15日号をご覧ください。

### 認定第1号

「平成25年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について」

Q 雇用の創出及び継続という点において、緊急雇用創出事業を市としてどのように活用できているのか

A 緊急雇用創出事業としては、市で直接雇用と委託先での雇用がある。直接雇用については、その後も雇用は続いているが、民間(委託)の分については、継続雇用は少ないとの報告があった。

Q 市営住宅長寿命化計画とは

A 市営住宅は築平均40年が経過している。今後、建て替えるべきか長寿命化を図るべきか検討した結果、長寿命化を図るべきとなったため、長寿命化に向けた改修等のスケジュールなどを定めた計画を策定した。

Q 保育士等処遇改善臨時特例事業の実態は

A 保育士処遇改善としての費用を補助している。毎月の給与の増額等につながれば一番よいが、実態は、一時金、賞与として支払われている園が多く、給与の増額とまでには至っていない。

Q 通級学級の増設要望があるが、検討されているのか

A 現在の北野北小学校が手いっぱいになっている状況で、南地区に開設を検討している。課題は、県費負担の教職員でないと運営できないので、早期に増設されるように県に要望していく。

Q 公園施設長寿命化計画策定事業の現状は

A 計画が整い、平成26年度から、施設の更新、補修に取りかかる。今年度予算は1300万円で、市内9公園の施設の更新、補修を行っていく。北地区では、中島公園ほか2園、中央地区は大野中央公園ほか1園、東地区は光が丘公園ほか2園、南地区では小田浦公園ほか1園を予定。

Q 中小企業融資制度(預託金制度)の活用状況や融資実績はどうなっているか

A 預託金は3億5000万円を銀行へ配分している。積極的に融資をしている銀行に対しては、預託金の配分を増やしており、各銀行に均等に配分しているわけではない。金融機関とは年1回程度会議をしているが、今後、融資状況等の情報を交換するため、回数を増やしていく。

# 審議結果一覧

平成26年 第3回 9月定例会

議案番号	件名	結果	付託委員会
第48号議案	大野城市若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	福祉文教委員会
第49号議案	大野城市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第50号議案	大野城市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第51号議案	大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	〃	総務市民委員会
第52号議案	大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	都市環境委員会
第53号議案	平成26年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について	〃	予算委員会
第54号議案	平成26年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第55号議案	平成26年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第56号議案	平成26年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第57号議案	平成26年度大野城市水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第58号議案	平成26年度大野城市下水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第59号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の制定について	〃	福祉文教委員会
第60号議案	大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃
認定第1号	平成25年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定 (賛成17・反対1)	決算特別委員会
認定第2号	平成25年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定	〃
認定第3号	平成25年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第4号	平成25年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第5号	平成25年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第6号	平成25年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第7号	平成25年度大野城市土地区画整理清算金特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第8号	平成25年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致 原案可決及び認定	〃
認定第9号	平成25年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	〃
報告第10号	平成25年度大野城市健全化判断比率について	報告	—
報告第11号	平成25年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第12号	平成25年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第13号	平成25年度大野城市土地開発公社の決算について	〃	—
報告第14号	平成25年度公益財団法人大野城まどかびあの決算について	〃	—
報告第15号	平成25年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	〃	—
報告第16号	平成25年度公益財団法人大野城市体育協会の決算について	報告	—



議案番号	件名	結果	付託委員会
請願第1号	集团的自衛権の行使容認に反対する意見書に関する請願書	賛成少数 不採択 (賛成3・反対15)	総務市民委員会
請願第2号	集团的自衛権の行使容認に反対する意見書に関する請願書	〃	〃
請願第3号	集团的自衛権の行使容認に反対する意見書に関する請願書	〃	〃
請願第4号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書	賛成少数 不採択 (賛成1・反対17)	〃
請願第5号	「農業・農協改革」に関する意見書の提出を求める請願書	全会一致 採択	都市環境委員会
請願第6号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	〃	福祉文教委員会
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致 同意	—
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—
	議員の派遣について	承認	—

## — 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第2号	新農政における農協の役割に関する要請書
陳情第3号	手話言語法(仮称)制定を求める意見書の提出を求める要望書
陳情第4号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情

### 賛否の分かれた議案(平成26年第3回9月定例会)

会派名	新生倶楽部					公明党				新風			新政フォーラム		虹ネット		おおのしょう未来		会派に所属していない議員	
	岡部和子	永野義人	香野信儀	田中健一	山上高昭	井上正則	白石重成	福山保廣	丸山恵美子	神野芳行	佐藤義廣	天野嘉久孝	松崎正和	関岡俊実	清水純子	松田美由紀	浅田大輝	高山やす子	松下真一	古賀健一
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	-	○	○	●	●	○	●
請願第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	-	○	○	●	●	○	●
請願第3号	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	-	○	○	●	●	○	●
請願第4号	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●

(○：賛成、●：反対、欠：欠席、-：議長は表決に加わらないため)

### 3つの意見書を国に提出

#### 手話言語法(仮称)制定を求める意見書

手話がろう者にとって大切な言語であることを広く国民に啓発し、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備についての意見書を関係行政官庁に提出。

#### 「農業・農協改革」に関する意見書

水田農業をはじめとする農業政策の推進、担い手の育成、管内農畜産物ブランドづくり等、地域農業を振興し、農家の所得向上を目指すためにJAグループの自己改革を強く求めることについての意見書を関係行政官庁に提出。

#### 「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現することについての意見書を関係行政官庁に提出

# 一般質問 ～これからの大野城を問う～

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市に対して質問を行います。

今回の一般質問で皆さんにとって重要な内容はありましたか？

注：★がついている内容を掲載しています。

高山 やす子	★大野城市における防災計画について ●高齢者福祉について	古賀 健一	●市の歳入における自主財源の確保について ★空き家及び放置土地対策及び課税について
田中 健一	★子ども・若者世代への支援について	松田美由紀	★人口減少社会への対応について
佐藤 義廣	●今後の保育行政の課題について ★固定資産税の賦課について	浅田 大輝	★住宅政策について ●新・夢とみらいの子どもプランについて
福山 保廣	★本市の学校教育（小中学校）環境について	清水 純子	★介護保険制度改正について
岡部 和子	★災害に強いまちづくりについて ●学校における防災教育について	香野 信儀	★乙金第2土地区画整理事業について
松下 真一	★（仮称）大野城心のふるさと館整備事業について		

## 大野城市における防災計画について

高山 やす子



**問** 警戒区域及び特別警戒区域の指定はどのようにされているか

**答** 市内には、土砂災害警戒区域が52か所、その内、土石流が22か所、急傾斜地の崩壊が30か所である。また特別警戒区域が40か所、その内、土石流が18か所、急傾斜地の崩壊が22か所である。土砂災害防止法の基本指針に基づき福岡県が指定している。

**問** 指定された区域についての今後の対応策について

**答** 土石流対策については県が実施するが、砂防事業や治山事業の対策が必要であるため、危険箇所については、県に砂防ダムや治山ダムの設置要望をしている。今後も、急傾斜地については、危険度や優先度を判断して、計画的に対処していきたい。

**問** コミュニティや公民館での防災対策について

**答** 市では、気象庁による大雨警報等の発令を受け、災害警戒本部を設置し、併せて各コミュニティセンターに職員を待機させると

共に各公民館に対し避難者ができた場合の受け入れ準備の依頼を行うことで、避難者が発生した場合の各避難所の受け入れ体制に万全を期している所である。

**問** ハザードマップの作成と活用について

**答** 本市は、ハザードマップを作成して、市内全戸に配布しているが、今後、更新の必要が生じた場合はより分かりやすく、使いやすいものにして、各区での防災訓練等において活用して頂きたいと考えている。



「いつでも・若者支援特区」の  
実現を目指して！

田中健一



納得のいく課税方法を

佐藤義廣



**問** 小学校の外国語活動の充実について

**答** 文部科学省は、平成25年12月、グローバル化に対応した英語教育改革実施計画を公表し、様々な検討が行われている。その中で、現在小学校5年生から実施している外国語活動を小学校3年生から実施すること等が検討されているが、最大70時間の授業時間が新たに必要となる。土曜日授業を月2回実施しても確保できないので、夏休みの短縮と空調設備の必要性について調査・研究するなど、総合的に検討していく。

**問** 教育施設の整備について

きた。今後、個別の学習支援が必要な児童・生徒への対応が必要と考えているので、現在、研究を進めているところである。

**答** 平野中学校は、1000人を超すマンモス校であるが、今後横ばいか、若干減少が想定されることから、校舎の増築は予定していません。また、運動場や体育館の拡張も予定していないが、他の施設利用を含め、利用方法の工夫について協議していく。なお、プールについては、手狭な状況にあり、何らかの対応が必要であると認識しており、施設整備や水泳授業の工夫の両面から対応策を調査し研究を行っているところである。

**問** 不登校対策について

**答** 本市における不登校のきっかけは、不安などの情緒的な混乱が約43%、本人にかかわる問題が約35%、学力不振が約28%、いじめを除く友人関係が約13%、家庭環境の問題が約10%となっている。

今年4月に開設した教育サポートセンターは、本人自身や家庭環境の課題に優先して取り組んで



平野中学校

**問** 固定資産税の賦課について、土地の評価方法はどのように

**答** 総務大臣が定める固定資産評価基準に基づき、大野城市の土地評価事務要領を定め、土地の評価を行っている。実際の評価では市街化区域の宅地については市街地宅地評価法、調整区域の宅地に関してはその他の評価法による。

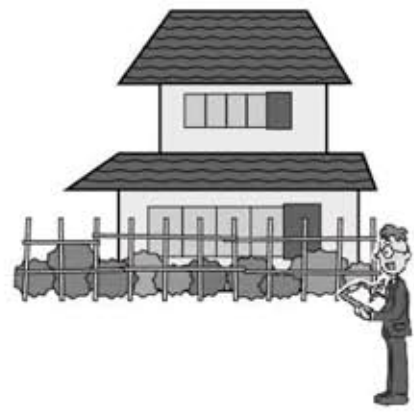
**問** 家屋の評価方法は

**答** 購入価格や建築工事費ではなく、再建築価格を基準として評価する再建築価格方式をとっている。具体的には登記所からの通知などから新築家屋を把握した後、家屋評価担当職員が家屋調査を実施し、竣工図などを参考にし、外観、内装及び建築設備等の状況を確認し、単位当たりの再建築費評点を算出するものである。

不動産の固定資産税について考慮する必要があるのでは

**答** 警戒区域に指定された場合は土地への法的規制はないが心理的な市場減退が見込まれるため、地域一帯を路線価により減価を行っている。特別警戒区域に指定された土地に対しては、開発行為等の規制、及び擁壁設置等の費用を考慮し、評価額を3割減価する補正を行う。本年3月に指定を受けたものについては賦課期日以降になるため、平成26年度分については固定資産税、都市計画税を3割減免している。

**問** ハザードマップ上の危険地域に指定された土地においては不動産の取引価格が低下するという現実がある。危険地域に指定された



本市の学校教育(小中学校)  
環境充実について

福山 保廣



問 小中学校における「がん教育」の推進について

答 がんに関する教育は、学習指導要領にのっとり、児童・生徒みずから自分の健康に関する課題を見つけ改善しようとする態度を育成するため、小学校の保健や中学校の保健体育において、生活習慣の乱れによる病気の予防という観点から指導している。しかしながら、次期がん対策推進基本計画の中では、がんそのものや患者に対する理解を深めるには不十分とされているので、今後も研究が必要と考えている。本年度、御陵中学校が、福岡県がん教育推進事業の指定を受け、がん教育の研究に取り組みを始めた。今後、御陵中学校での研究成果を踏まえながら、がん教育を推進していく。

問 教育委員会制度の改革による教育の中立性の確保と責任の明確化について

答 教育の中立性の確保については、教育委員会が、引き続き市長部局からの、独立した執行機関

として保たれたことや、総合教育会議における調整事項への最終的な執行権限は保たれていることから、政治的中立性は確保されていると判断する。責任体制については、緊急事態の対処において、教育長判断により、緊急に教育委員会会議を招集。さらには市長の判断により緊急に総合教育会議を開催し、事態に迅速に対応をしていくための措置について、市長と教育委員会が調整・協議することを想定している。



安全安心に暮らすための  
自主防災組織について

岡部 和子



問 自主防災組織の現状と今後について

答 各区では、自主防災組織の班編成を組織されている。情報収集や初期消火、救護、避難誘導、給食・給水などの任務を、班体制で実施するよう組織されている。平成25年度は13区の防災訓練が実施され、今年度は、20区が計画されている。

訓練時の経費等に対する助成制度や、訓練の支援、資機材の提供等、育成支援、連携を図っている。コミュニティごとに総合防災訓練や総合避難訓練、訓練方法の確立や情報提供を行い、自主防災組織の意識高揚に努めている。

問 防災の啓発活動について

答 正しい防災情報の提供、ハザードマップの配布やホームページ等各媒体を使った周知を行い、自主防災組織の訓練に対する助成や、市が実施する総合防災訓練、防災展示、市民、地域の防災意識の高揚を図る。

問 避難所の現状について

答 公民館や学校等を中心に55施設を避難所として指定している。コミュニティセンターの4施設とすこやか交流プラザは、福祉避難所としても指定している。避難者に対する支援は、災害応急対策のうち最も重要な対策であることから、避難所の拡充も含め、民間事業所との協定をさらに推進していきたいと考えている。

各区内の一時避難場所となり得る空き地等の情報提供をお願いしている。西鉄自動車学校敷地については、地震の際に避難場所として今後関係者と協議、調整の上、協定の締結に向けて進めていきたいと思う。



## 大野城心のふるさと館 整備事業について

松下 真一



**問** 設計業者の選定基準は何を柱にしたか

**答** 業者選定はプロポーザル方式で行い、会社の実績、建築設計、展示設計、見積価格等、総合的な内容の審査を対象とした。

**問** 市の事業スケジュールの変更はないか

**答** 29年度の出来るだけ早い時期での開館を目指す。

**問** ふるさと館は博物館法にのっとった展示を行うのか

**答** ふるさと館は歴史系博物館の機能と、観光、子どもをテーマとした市民交流センター的機能を併せ持つ複合施設と位置づける。

**問** 有料の特別展示会を開催する場合、基準は満たされるか

**答** 企画展示室又は特別展示室の設備は、気温、湿度、照明等をコントロールできる部屋は確保する。

**問** 学芸員の配置は何人の計画か

**答** 市の文化財技師である職員の

活用を考えている。

**問** 本館のコンクリート躯体の養生期間はオープンに間に合う計画か

**答** 現在のスケジュールでは二夏の枯らし期間の確保は難しいが、工事工程の調整やPC板の採用などで、また揮発性有機化合物も、フォースター等級の建材使用でクリアできると考える。

**問** 概算事業費や運営費は再検討すべきではないか

**答** 本事業は、第5次大野城市総合計画後期基本計画の一つでもあり、計画期間内の事業推進を目指しており、建設費や運営費は設計業務を進める中で確定していく。



## 空き家・空き地の 管理や活用について

古賀 健一



**問** 全国的に空き家・空き地がふえている。防災・防犯の面から、また、快適な住環境を守るための国及び本市の対策状況は

**答** 国では秋の臨時国会で空き家等に対する特別措置法案が審議予定である。本市は現在空き家の実態調査をしている。国の法案が成立すればそれに準じて対策条例等を検討し活用する。空き地に関しては所有者に草刈り等、必要な措置を指導している。

**問** 空き家は老朽危険な物件は解体等が必要だが、まだ十分住める空き家は市が仲介斡旋等を行い、若年層の子育てや地域の高齢者用サロン等に活用してはどうか

**答** 空き家の活用に関しては全国の自治体や社会福祉協議会、NPOなどが主体となり空き家の有効活用として定住促進に資したり、地域のサロン等を立ち上げている。本市も実態調査等の結果を踏まえ、福祉的な見地からも利用可能な制度や方策の調査研究等をしていく。

**問** 老朽でも建物が建っておれば、住宅地として固定資産税が減額されていると聞くが、その関係で建物がのこされているのではないか

**答** 住宅の要件が具備されない状態では住宅用地として認定しないが、住宅が空き家の状態だけで非住宅用地とすることはできない。

国において、空き家の固定資産税の取り扱いについて検討されているので、国の動向にも注視しながら検討していく。





**問** 定住自立圏構想について

**答** 福岡都市圏広域行政推進協議会という枠組みの中で共通する課題の解決に向けた取り組みや、効果的かつ効果的な広域行政の推進を図っていく。現在のところ、定住自立圏形成協定を結ぶことは考えていない。

**問** 福岡都市圏広域行政推進協議会との連携について①本市の目指す着地型観光につながっている

**答** 「観光・ツアー」の実行プランとして、都市圏内の観光客の周遊を目的としたルート作成を今年度行う予定。本市が誇る地域資源を含んだ周遊ルートとなるよう、積極的に提案を行い、観光誘客につながるよう努力する。

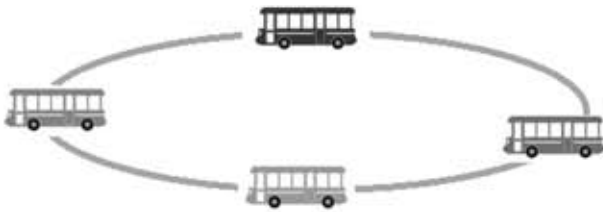
**問** コミュニティバスの広域化について

**答** 地域の要望の高まりを踏まえた上で他市と協議を行っていく。3市1町で構成する博多南線交通対策協議会において月の浦から春日市のフォレストシティ

を通過し、博多南駅を結ぶ路線バスの新規開設を構想している。協議会から路線バス事業者宛に要望書を提出する取り組みを行っている。

**問** 水道事業の広域化について

**答** 本市の水道事業では、直近の課題とはしていないが、将来の水道事業にとつて、広域化は重要な課題と考えている。広域等検討部会の各分野で広域化に関し、継続的に調査・研究を進める。



**問** 市営住宅の供給不足という認識はあるか

**答** 本市においては、当面は現在の戸数で十分であると考えている。

**問** 落選者（抽選に外れた人）への対応状況について

**答** 落選者のうち3年以上連続で応募した世帯には、抽選くじが一つ増える優遇措置を設けている。住宅への困窮度を点数にして合計点の高いほうから順に優先的に入居者を決定する方式（ポイント方式）は採用していない。

**問** 入居要件を満たしているにも関わらず、入居できる者とならない者がいる状況は、住宅困窮者に対するセーフティネットという観点からみると明らかな不公平状態にあると考えるが、市の見解は

**答** 市営住宅に入居できない方が住宅セーフティネットの中で必ずしも不公平になるとは考えていない。

**問** 家賃補助制度について

**答** 市内には市営住宅のほか、各種住宅セーフティネット事業の対象住宅があることから、本市独自に家賃補助制度を創設することは現在考えていない。

住宅困窮者数や、セーフティネットとしての各種住宅の空き個数の把握はしていないので確定はできないが、本市内では住宅困窮者に対する住宅が整備されており、入居希望者は、セーフティネットとしての各種の住宅のいずれかには入居できるような状況にあるのではないかと考えている。



おおぎ市営住宅

## ボランティアを活用した 地域支援づくりについて

清水 純子



**問** 介護保険制度改正に伴い、第6期の介護保険事業計画が作成中のこと、改正法による総合事業はいつから開始されるのか

**答** 厚生労働省は、平成27年4月としながら、サービス提供の仕組みづくりには時間を要することに配慮し、平成29年3月までの猶予期間が設けられる見込み。本市では、新しい総合事業をできるだけ早期に実施したいと考えており、実施に当たっては、事業所整備や労働力の確保、ボランティアとの連携など、事前準備が必要であり、現在、複数の事業所との協議を進めている。事業開始の時期や開始時点での利用者数などは、現時点では明言はできないが、事業所とも十分に協議の上、早く開始できるように努める。

**問** 総合事業の内容と、これにかか  
る人員の配置について

**答** 要支援認定者に対するデイサービスと居宅訪問介護サービスの介護保険給付を市町村が実施する地域支援事業へと移行するも



ので、新しい点は、サービスの担い手に、従来の介護事業者の他に雇用労働力を主体とした民間事業者、NPO法人、ボランティアなど、多様な実施主体を想定している。人員配置については、地域包括支援センターにコーディネーターを配置し、関係団体との協議に基づき、事業規模に応じた適正配置となるように検討する。

本事業は、第5次大野城市総合計画後期基本計画の一つでもあり、計画期間内の事業推進を目指しており、建設費や運営費は設計業務を進める中で確定していく。

## 乙金第2土地区画 整理事業について

香野 信儀



**問** 本区画整理事業は、平成26年度竣工ときいていたが

**答** 本事業は、平成18年度から26年度までの予定期間で進めてきたが、文化財調査及び工事の増加等のため2年間延長することになった。

**問** 公園緑地の確保は怎么样了  
なのか

**答** 公園は7カ所、面積は合計で約1万3900㎡。緑地は、高速道路沿いの山林や、のり面の緑化等で約34000㎡であり、公園緑地合せて約4万7900㎡となり、事業地全体の11.6%を確保している。



**問** 防災対策はどうなっているのか

**答** 雨水排水等の施設は、事業区域外の雨水は水路5本で地区外へ、区域内の雨水は調整池に集め、下流に放流することになっている。

**問** 街路及びメイン道路整備のなか  
で歩道と街路樹の整備をどう考  
えているのか

**答** 都市計画道路は4路線、うち現人橋乙金線は、自転車も考え両側歩道4m（街路樹有）が約1300m、3路線は歩行者の安全から両側歩道3m（街路樹無）合計約1200mを整備する。

**問** 保留地処分の売却が行なわれて  
いるが、居住人口をどの程度と  
見ているのか

**答** 計画人口の3500人程度の居住を見込んでいる。児童、生徒の増加見込みは、大野東小130人、大城小80人、大野東中100人であり、現施設を普通教室に転用するなどにより対応する方針である。

# 議会のここが知りたい

〔質問〕 議会や議員は、日頃市民のために様々な活動をされていると思いますが、議会は、いつ開催されているのですか。

〔回答〕 議会は、3月、6月、9月、12月の年4回定例会を開催しています。また、必要に応じて臨時会が開催されます。

〔質問〕 議会が開催されていないときは、議会や議員は何をしているのですか。

〔回答〕 各委員会ごとに行政視察や所管事務調査、担当する事業等についての協議調整をしています。

また、議員個人では、視察・研修、地元要望の対応や地域活動等を行っています。

〔質問〕 代表質問や一般質問は、何のためにどのようにされているのですか。

〔回答〕 代表質問とは、市政全般について会派が市の考え方を聞くことで、3月定例会と市長選挙後の最初の議会で行われます。

また、一般質問とは、市政全般について議員が市の考え方を聞くことで、定例会ごとにすべての議員が質問時間30分の持ち時間で、一問一答方式で行われます。

なお、代表質問も一般質問も、義務ではなく希望で行います。



質問者：賀来 太子さん



大刀洗町議会と大野城市議会の  
広報委員会委員

大刀洗町では、写真の掲載をはじめ、余白の取り方、キヤッチコピーのとりえ方などに多くの工夫をされているように見受けられました。

議会の内容を市民にわかりやすく、また市民が見る気になれる広報づくりが大切であり、議会の活動そのものが、市民に大いに発信できる活動とする必要があると感じました。

これからも、見てもらえる紙面づくりにがんばっていきます。

広報委員会が  
大刀洗町議会に  
視察に行ってきた

## 平成26年第4回12月定例会(予定)

- 12月 1日(月)10:00～本会議 提案理由説明
- 4日(木)10:00～本会議 質疑・付託
- 5日(金)10:00～各常任委員会 10日迄
- 11日(木) 9:30～本会議 一般質問
- 12日(金) 9:30～本会議 一般質問
- 17日(水)10:00～本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。  
みなさまの傍聴をお待ちしています。

天高く馬肥ゆる実りの秋になりました。今年は、新米の価格が安く、秋の実りを存分に楽しめそうです。

この原因は、昨年一昨年の豊作にありませう。大手の卸が在庫を抱えて新米を例年並に仕入れることができないため価格が下がっているのです。また、近年は価格が下落傾向で、米作りは厳しい状況にあります。

大野城市議会は、9月議会で政府に対して、農業の生産現場の声を聞き、現状に応じた農業改革を進めるように意見書を提出しました。

生産者、消費者、流通業者が揃って実りを喜べるようにしたいですね。

(T・Y)

あんでな